

テーマ：換気システムについて

今年の総会に参加して、気密測定器や風量測定器等の測定器を製造販売する当社としては「換気」の内容が一番興味深く聞かせて頂きました。やはり省エネを考えますと第1種熱交換換気システムの導入がベストな方法です。そこで、当社に換気システムに関する問い合わせ（質問・相談）をご紹介致します。

換気システムで1番の問題は、やはりフィルター掃除です。「換気口から風が出ない！・吸わない！」の約9割はフィルター掃除で問題解決しています。「壁が結露する！」の原因究明をする場合は、換気システムのフィルターをまず始めにチェックすることをお薦めします。フィルター掃除後に「結露しなくなった」という話も数多く聞きます。新築より3年以上経過した場合にこの問題が多く出ているようです。

※特に3年目以降になるとお客様もフィルター掃除をやらなくなるみたいですね。

2番目の問題はダクトが長すぎる事からくる能力不足です。（設計ミス）多くは50φのダクトを使用していました。やはり全体的にダクトの距離は短めに、メインダクトは100φ以上、分岐後は75φ以上のダクトを使用することをお薦めします。

この頃の情報で気になることがあります。ダクト内のゴミの問題です。これも新築より3年以上経過した場合が多いのですが、第3種換気システムまたは第1種換気システムのOAダクト（外から換気機器まで）とRAダクト（各室内から換気機器までの吸込）のダクト内にたまるゴミのことです。特に第1種換気システムではゴミから発生したカビなどのおいなどが家全体に・・・と問題になってきているようです。（まだ事例は少）この問題もフィルター掃除・交換で一応の解決が進んでいるみたいですが、戸建住宅ダクト内清掃業者の需要も徐々に増えてきたと聞いています。

以上、何かのお役に立てれば幸いです。